

説 明 文 書

患者 _____ 様

この文書は、超音波内視鏡検査 (EUS) についてその目的、内容、危険などを説明するものです。説明を受けた後に不明な点がありましたら何でもおたずねください。

【説明事項】 (以下の各次項で該当がある場合は□にレを記入)

1. 病名と病態

別紙参照 説明事項なし その他 ()
膵臓、胆道 (胆嚢・胆管) の疾患

2. 当該医療行為の必要性・有効性・目的・画像所見・病期等

別紙参照 説明事項なし その他 ()
超音波内視鏡とは、上部消化管内視鏡検査に使うスコープの先端に超音波検査のプロブがついたものです (プロブとは、超音波を発生する装置のことです)。胃や腸の中の空気や腹壁、腹腔の脂肪、骨が画像化の障害になることもなく、高い周波数で膵臓や胆嚢、胆管の詳細なエコー像を確認できるという利点があります。他の検査では分かりにくい病変や小さな病変も観察が可能であり、膵臓、胆道疾患には欠くことのできない検査です。

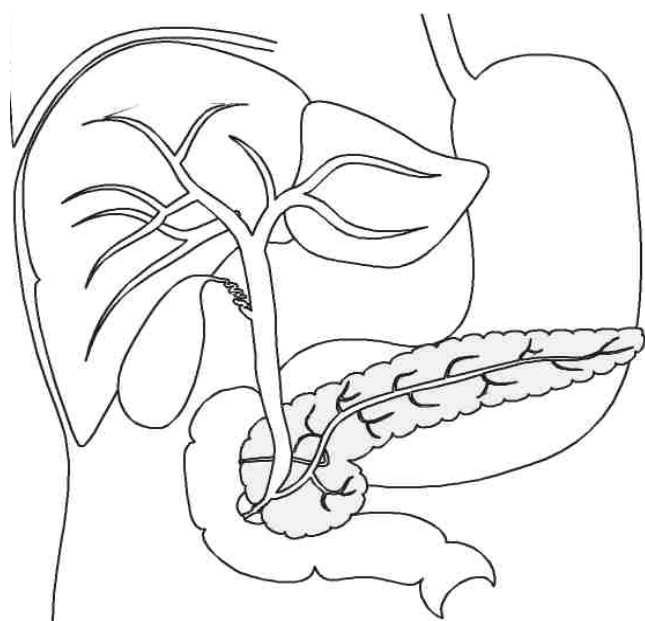
3. 当該診療行為の内容

別紙参照 説明事項なし その他 ()

検査前日 21 時以降は絶食です。水は検査前まで飲んでいただいて構いません (お茶やコーヒー、ジュースは飲めません)。EUS で使用するスコープは、普通の上消化管内視鏡検査に使用するスコープよりすこし太く、検査にかかる時間も長くなるため、検査中は鎮静剤を使用します。

消泡剤のシロップを飲んだ後、のどの麻酔 (咽頭麻酔) をします。腸の動きを止める薬 (鎮痙剤) と鎮静剤を点滴から注射します。超音波内視鏡を十二指腸まで挿入し、内視鏡の先端についでいる超音波にて膵臓、胆道 (胆嚢・胆管) を観察します。検査時間は概ね 10~20 分です。

外来で検査を受けられる方は、鎮静剤をしようするため検査当日は自動車、バイク、自転車の運転はできません。検査後はのどの麻酔や鎮静剤の効果がとれるまで回復室で休んでいただきます。



4. 当該医療行為に伴う危険性とその発生率

別紙参照 説明事項なし その他 ()

EUS の偶発症の危険は、通常の消化管内視鏡検査と同じです。

① スコープ挿入による偶発症 (出血、穿孔など)

発生率 0.024%、死亡率 0%

② 前処置による偶発症 (咽頭麻酔、鎮痙剤のアレルギーや鎮静剤による呼吸抑制)

発生率 0.0059%、死亡率 0.0001%

[消化器内視鏡関連の偶発症に関する第 4 回全国調査報告 (2004 年)]

5. 偶発症発生時の対応

別紙参照 説明事項なし その他 ()

当院では、万一の偶発症発生の際、外科的処置を含めた迅速な対応ができる診療体制をとっております。

6. 代替可能な医療行為及びそれに伴う危険性とその発生率

別紙参照 説明事項なし その他 ()

膵臓・胆道の検査として他に超音波検査、CT、MRI がありますが、EUS のように高い解像度で膵臓や胆道の画像が得られる検査はありません。

7. 医療行為を行わなかった場合に予想される経過

別紙参照 説明事項なし その他 ()

病気の診断が遅れ、適切な治療が受けられなくなる可能性があります。

8. 臓器・組織の取り扱い

別紙参照 説明事項なし その他 ()

本医療行為においては、組織・臓器の取り扱いはありません。

9. 同意の撤回

別紙参照 その他 ()

同意書を提出された後でもお申し出があれば、治療を中止することができます。

10. セカンドオピニオン

希望なし その他 ()

他の施設の医師の意見も聞きたいと希望される方は遠慮なくお申し出ください。

11. 別紙 (□有 □無)

(有の場合、次項にチェック 冊子 動画 その他 ())

12. 患者からの具体的な希望

別紙参照 希望なし その他 ()

本医療行為を行うにあたり、具体的な希望がある場合はお知らせください。